

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 539 号	氏名	浅原 智彦
学位審査委員	主 査	西田 教行	
	副 査	平野 明喜	
	副 査	青柳 潔	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、整形外科手術における surgical site infection (SSI) 対策の新規消毒法開発のため、酸化チタン溶液の光触媒作用による黄色ブドウ球菌殺菌効果を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 酸化チタン超微粒子を独自開発し、研究成果を左右すると考えられる種々のバイアスを可能な限り除外するようにデザインし、紫外線照射時の殺菌効果を細菌学的手法で評価し解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、酸化チタンの光触媒作用によるフリーラジカル産生によって黄色ブドウ球菌に対する殺菌作用が生じることを明らかにし、また紫外線照射のみならず可視光でも殺菌効果が認められる酸化チタン溶液の作成に成功している。今後の整形外科手術時の黄色ブドウ球菌感染対策に有効である可能性が示唆され、SSI 予防法の確立に繋がることが大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は整形外科関連感染症研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			